

分類	会議録	《 議 事 録 》	作成
作成日	2025年8月28日	令和7年度 第3回主任相談支援部会	矢部
日 時	2025年8月28日	10:00～12:00	
場 所	大和高田市役所	5階会議室/会議室8	
出席者	大竹（もちつもたれつ）、高橋（葛城社協）、秋本（ふわら）、撫養（ひまわり学園）、井口/寺本（大和高田市）、鎌田（なつつ）、林（愛の集い学園）、矢部（青垣園）（順不同）		
次 第		内 容	
研修会について		<ul style="list-style-type: none">・ 日程：10月3日（金）・場所：高田市社会福祉協議会・ 講師：立命館大学/萩原浩史氏・ 内容：「アセスメントって何？【ad sedere】の意味と理解：1996・2006⇒2025」 ※1996年：障害者地域生活支援センターが位置づけられる。そのころは障害者ケアマネジメント従事者という名称で言われていた。 2006年：計画相談が始まった時期で相談支援が大きく変わった時期でもある。 ※アセスメントの方法も今と昔では変わってきている。・ 対象：中和地区3市1町の相談支援事業所に所属する相談支援専門員。50名程度を予定。・ スケジュール 9：00～9：30 受付 9：30～10：30 講義 10：30～10:40 休憩 10:40～11:40 グループ討議 11：40～12：00 質疑応答・アンケート記入・ グループ分け：1班5人の10グループを予定。経験年数を考慮し、同一事業所がかたよらないように振り分けを行う。又、主任相談員7名はファシリテーターも同時に行う。7グループを超える場合はファシリテーターを参加者から選任する。・ 講師料：中和地区3市1町自立支援協議会から負担	
相談支援専門員初任者研修実習受け入れについて		<ul style="list-style-type: none">・ 実習の目的 ※実習①：受講生が作成したケースを発表しケースの共有を行う。その中で課題を見つけ助言等を行いながら意見を出し合う。目的は「受講生が地域と繋がること」⇒主任相談支援部会で対応 ☆主任相談員7名が2グループに分かれて10月8日、10日に実習生を受け入れる。受講生1人あたり20分程度（事例説明10分、助言10分）で実習を行う。 ☆当日は予約制だが希望があれば他の受講生の実習も見学可能。※実習②：自立支援協議会に受講生が参加し傍聴する。⇒就労支援部会で対応。・ 令和7年度受講生16名（内訳：高田市10名、香芝市3名、葛城市2名、広陵町1名）	
達成目標に向けて		<ul style="list-style-type: none">・ 地域社会資源の評価シートの検討。 ⇒それぞれの地域資源の把握から進めていく。・ 相談支援専門員のネットワークづくりについて検討。 ⇒研修を定期的に行うことで顔の見えるつながりや相談できる関係性を構築する。・ 相談支援専門員への研修「アセスメントについて」 ⇒10月3日（金）立命館大学/萩原浩史氏を招いての研修を実施。・ 相談支援専門員/初任者研修の企画運営について ⇒10月8日（水）、10日（金）に実習生を受け入れ事例検討を実施。	
		・ 次回：2025年10月23日（木）10：00～大和高田市役所	